

学生ボランティア部

社会に出てからも必ず役立ちます

サークル紹介

[取材]

■主な活動

- 児童養護施設訪問
毎週金曜日 19:00～20:30
一緒に勉強したり遊んだりします。
- 障害のある児童の支援(月2回)
楽器を使ったり、簡単な料理などのお手伝いをします。
- 赤十字献血推進活動キャンペーン
学内で年5回、徳島駅前で年数回
- その他、県や市町村のイベント、防災訓練、徳島マラソン等、大学を通じて依頼のあった場合。

●入部方法

部活 毎週金曜日 学生会館
立田部長
携帯電話 090-4196-8971
HP
http://www.tokushima.bc.jrc.or.jp/square/sqr_student/gakuhou/tokubo.htm



部長
工学部建築工学科3年次
立田 成信 たてだ しげのぶ

部長アピール
「自分の活動が、何かの役に立つという実感があります。学生時代にしかできないことも多く、社会に出て、人とのコミュニケーションなど、必ず役に立ちます。いろいろな人と知り合い、充実した学生生活を送りたい方はぜひどうぞ」



ソフトテニス部

初心者も大歓迎、エンジョイ・テニス



■主な活動

- 4月 新入生歓迎コンパ、花見
- 5月 春季四国学生ソフトテニス選手権大会(団体・個人)、春季大会打ち上げ

部長
総合科学部
総合理数学科3年次
松林良太郎
まつばやしりょうたろう

女子部長
工学部建設工学科3年次
岩佐 麻由 いわさ まゆ



- 7月 四国インカレ(団体・個人)
- 四国インカレ打ち上げ
- 夏休み 合宿キャンプ、バーベキュー大会
- 10月頃 中国・四国学生ソフトテニス選手権大会(団体・個人)、二選選手権大会(団体・個人)、秋季四国学生ソフトテニス選手権大会(団体・個人)
- 冬休み 冬期合宿、スノボ
- 年末年始 忘年会・新年会
- その他 県秋季クラブ対抗戦(団体)、県選手権大会(個人)、徳島市スポレク祭、市団体戦、徳島市ソフトテニス会長杯、等々に参加

●入部方法

部活 毎週火・木(自主練習)・土(全体練習) 10時～16時(に見学可) 総合グラウンド
松林部長
携帯電話 090-8867-2959
HP
http://www.geocities.jp/tokudai_stc/

部長アピール

「遊びと練習、堅苦しくならないようメリハリをつけながら楽しんでいきます。今からでも気軽に始められるので、初心者も大歓迎です。2年前にはインカレで優勝もしており、今年は春期・秋期とインカレの三冠を目指してがんばっていきます」



■第2回 徳島大学卒業留学生同窓会を中国上海と韓国釜山で開催



徳島大学を卒業
又は修了
した元留
学生や元
徳島大学
外国人研
究者に対
象に、1
月22日は
中国上海
市で、翌
23日には
韓国釜山市でそれぞれ第2回留學生同窓会を開催し、学長及び関係者が出席しました。

留學生同窓会会長が参加し、同窓会を中心に、今後も共同研究の分野などで相互に連携を深めることとしました。引き続き開催した交流会では、中国に進出している徳島県や企業の関係者も参加し、徳島での留学時の思い出や近況などについて懇談しました。

また、韓国留學生同窓会は2009年12月に発足しており、今回は、韓国全土から同窓会役員を中心として約10名以上の元留學生が家族とともに参加し、久しぶりに会った元留學生らが互いに旧交を温めるとともに、徳島大学での楽しかった留学時代について大学関係者とともに懐かしんでいました。

■AWA(OUR)サポートシステム キックオフシンポジウムを開催



12月7日、女性研究者支援モデル
ル育成事業の一環として「徳島大学AWA(OUR)サポートシステム」のキックオフシンポジウムを開催しました。

徳島大学の研究者の女性比率は、助教では30%を超えているものの、30歳代での離職割合が高く、教授での女性比率は7%弱まで減少します。このため、徳島大学では、女性研究者の底上げを目指し、育児支援、研究支援などの取組を始めています。

シンポジウムでは、香川学長の開会挨拶、合田隆史文部科学省科学技術・学術政策局長の来賓挨拶の後、高井美穂衆議院議員から「国会議員のワークライフバランス」をテーマにママ議員としての生活が語る特別講演がありました。

また、続く基調講演では塩見美喜子慶應義塾大学准教授から、多忙な生活の中で時間をやりくりしながら両立する知恵と工夫を語り、子育て中の研究者を励ましました。塩見准教授は昨年、顕著な業績を上げた女性科学者に贈られる猿橋賞を受賞しており、研究と家庭を両立して活躍する姿は、女性研究者のロールモデルとして聴衆に強く印象づけられました。

パネルディスカッションでは、徳島大学における女性研究者支援の事業紹介として、AWAサポートセンターの教員らがそれぞれ担



当の取組を説明し、今後の支援策について討論を行いました。

■平成22年度 健康賞受賞者決定し、贈与式挙

平成22年度の健康賞受賞者(教員12人、学生48人)学術研究関係24人、奨学生24人が決定し、1月31日(月)、長井記念ホールにおいて贈与式が挙行されました。

健康賞は、昭和26年に創設され、今回で60回目を数えるもので、本学の教員でその研究に成果のあった者及び本学の学生で学業成績等が優秀である者に対し、財団法人康楽会より賞状及び賞金が贈ら



るものです。

式では、一人一人に学長から賞状の授与、財団法人康楽会から御出席いただいた野田理事から賞金が贈与されました。また、学長及び受賞者を代表して大学院ヘルスパイオサイエンス研究部 東雅之教授から、財団法人康楽会に対して謝辞が述べられました。

